

野生植物分類研修報告

宇佐美 敦

(静岡大学技術部フィールド部門)

1. 背景と目的

静岡大学技術部フィールド部門が管理を担当している農学部附属天竜フィールドや南アルプスフィールドでは、フィールド実習等で教員のガイドや学生指導等で樹木の樹種同定能力が必要とされている。また、近年では広域でサンプルを収集解析する研究手法が一般的になり、静岡大学においても樹木類の試料採集などの研究協力依頼（他大学・他機関含む）が増加している。植物の種同定に関しては、組織の観察や遺伝子解析、花や花粉の観察など様々な手法があるものの、フィールドにおいて多数の試料で採集するためには枝葉の観察をもって樹種同定することが最も効率的な手法である。

樹種同定技術の向上にあたり、知識のインプットだけではなく他者へのレクチャー・研修などのアウトプットを経ることで自己研鑽の奨励や学生への指導力向上などへのフィードバックが期待できる。

以上のことから、野生植物（特に樹木）の形態学的な特徴や差異を理解し、樹種を同定する際に着目すべき枝葉の部位・形状や特徴など、形態学的な知見に基づくフィールドでの基本的な樹木分類手法を習得する（指導を訓練する）ことを目的とし、研修を行った。

2. 方法

静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター南アルプスフィールド（中川根演習林）の冷温帯ブナ林（標高約 1500m）において、植物観察と枝葉の採集を行う。採集した枝葉は現地で観察、植物図鑑等を適宜使用し、樹種を分類・同定する。また、研修当日の行程を表 1 に示す。

表 1 研修行程

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		30								15
8月30日 (火)	集合※	移動	ガイダンス 植物観察(宿舎周辺)	昼食	ホーキ薙～板取山にて 散策および植物観察・同定など	移動	解散※			

※集合および解散場所はJR金谷駅、金谷駅～南アルプスフィールドの移動は農学部公用車

3. 結果

本フィールドでは 205 種の木本種が確認されているが(2022 年 12 月 1 日現在)、本研修においてはムクロジ科やツツジ科・ブナ科など、同科で形態的に類似するものが多く混同しやすい樹種を中心に 14 種の木本植物を採集し、同定や解説を試みた(表 2)。また、フィールド林内を周遊し、同所的に様々な種の樹木が生育していることを観察することができた(図 1)。

表2 2022年8月30日採集リスト

種	科	属	学名
アブラチャン	クスノキ科	クロモジ属	<i>Lindera praecox</i>
ナナカマド	バラ科	ナナカマド属	<i>Sorbus commixta</i>
ブナ	ブナ科	ブナ属	<i>Fagus crenata</i>
イヌブナ	ブナ科	ブナ属	<i>Fagus japonica</i>
ミズメ(ヨグツミネバリ)	カバノキ科	カバノキ属	<i>Betula grossa</i>
オオイタヤメイゲツ	ムクロジ科	カエデ属	<i>Acer shirasawanum</i>
ハウチワカエデ	ムクロジ科	カエデ属	<i>Acer japonicum</i>
アサノハカエデ	ムクロジ科	カエデ属	<i>Acer argutum</i>
ホソエカエデ	ムクロジ科	カエデ属	<i>Acer capillipes</i>
ウリハダカエデ	ムクロジ科	カエデ属	<i>Acer rufinerve</i>
シロヤシオ(ゴヨウツツジ)	ツツジ科	ツツジ属	<i>Rhododendron quinquefolium</i>
アカヤシオ	ツツジ科	ツツジ属	<i>Rhododendron pentaphyllum</i>
アオハダ	モチノキ科	モチノキ属	<i>Ilex macropoda</i>
ウラジロモミ	マツ科	モミ属	<i>Abies homolepis</i>



図1 研修風景

4. まとめ

フィールド部門では、今回研修を実施した南アルプスフィールドを含め、天竜フィールドやその他実習等で利用実績のある静岡県内の森林において、67科149属286種(南アは205種)の樹木生息情報を保有しており、今回の研修を参考に様々な場所・習熟度に応じた樹木分類研修の実施が可能である。また、他大学・他機関と連携した樹木同定の勉強会の開催なども検討していきたい。

謝辞

本研修の開催にあたり、スタッフとして協力していただいた静岡大学技術部フィールド部門の矢澤・加々美両氏、参加された皆様に感謝申し上げます。